

絶滅危惧植物の保存について一今消え去る前に一

徳島大学薬学部薬用植物園（学部長：高石喜久）では、この度、徳島大学学長裁量経費（社会貢献支援事業）の支援を受け、絶滅危惧植物の群体圃場を整備し、本格的に四国地域絶滅危惧植物の保存事業を開始しましたので公表します。

（報道概要）

1. さらに絶滅危惧植物の効率的な保存を目指すため、本事業により圃場（ロックガーデン）を整備し、14種の絶滅危惧植物の群体保存を開始し、その植物も順調に育っています。
2. 徳島大学薬学部薬用植物園（国府町日開）では、これまでも絶滅危惧植物の保存を少しずつ進めておりました。
3. この絶滅危惧植物の保存事業が、徳島大学学長裁量経費（社会貢献支援事業）に平成20年度に採択され、本格的に四国地域絶滅危惧植物の保存に取り組んでおります。
4. 本事業により、本薬草園で保存している絶滅危惧植物は78種となりました。徳島県版レッドデータブック掲載植物は835種ありますが、その中に載っている植物中、現在66種（7.9%）を保存しております。また、同データブックに絶滅と記載されている植物は30種ありますが、本薬用植物園では6種（20%）を保存しています。
5. この事業で保存している絶滅危惧植物は定期的に一般公開し、国民の環境保全意識の向上にも役立てられたらと考えています。

追記：私たちの思い

植物がこの世から消え去ると再び私たちの目の前には現れない。絶滅危惧植物は特に存在の危うい種類で、地球環境の悪化、地域開発などでこれら植物にとっては生存が困難になっている。この世から消え去る前に、可能な誰かがどこかで維持する必要がある。もう時間は残されていない。私たちは今出来ることとして、徳島大学薬学部薬用植物園で四国地方の絶滅危惧植物を出来る限り保存し、子孫に伝えてゆきたい思いで本事業を進めている。本事業を理解していただき、多くの人々の協力のもと、同薬用植物園が「取り敢えずの」絶滅危惧植物の保存基地へと発展させたい。

お問い合わせ先

部局名 薬学部

責任者 高石 喜久（薬用植物園長・学部長）

担当者 高石 喜久・今林 潔

電話番号 088-633-7275

メールアドレス takaishi@ph.tokushima-u.ac.jp